

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスみくま		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が子どもにわかりやすく構造化された環境となっている	子供に分かりやすい室内構造にしたり、怪我をしにくいものの配置を意識している	個別療育の際周りの刺激を減らし課題に取り組みやすい環境を整えていく
2	保護者と子どもの状況を伝えあい共通理解ができている	児童一人一人の特性を理解し、それぞれに合った課題を用意する	イベント行事が偏らないように各曜日ごとに順番に楽しめるイベント行事に参加できるよう様々なバリエーションを考えていく
3	ビジネスLINEを活用しているので親御さんとスムーズに連絡をとることができている	イベント行事では普段お家では出来ない体験をしてもらうため様々なイベントを考えている	多職種視点からそれぞれの子供にあった課題を考え、一人一人しっかりと寄り添った支援を行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時の対応についてしっかりと伝えられておらずどのような対策をとっているかなど親御さんに伝わっていなかった	話す機会は送迎がメインになってしまう為、限られた時間の中でのお話しになってしまうので子育ての助言などがあまりできていなかった	事故等（怪我等を含む）が発生した際に職員への情報共有ができていない時があった為しっかりとヒヤリハットなどの共有をしていく
2	個別療育は充実しているが、集団療育がほぼ取り組めていない	来所時間がバラバラなのと年齢差がある為全員が一緒に取り組める課題が準備できていなかった	個別課題を取り組む際視覚的に気になる要素は減らしていったが音の問題がまだ解決できていない為どのように取り組んでいくか要検討中
3	新規や追加の利用希望時の受け入れが難しい		